



今回の晴ればれチャンネル市議会NEWSは、昨年9月の決算審査特別委員会文教分科会での質疑の模様と12月の定例会一般質問を合併号として発行しました。

キングスカイフロントの挑戦

コロナ克服へ総力を挙げる!

▶山田議員は、キングスカイフロントのナノ医療イノベーションセンター(iCONM)の取組みについて質問。市は、新型コロナウイルス感染症のmNRAワクチンと片岡センター長(東大名誉教授)の開発したスマートナノマシン(※)を応用し、少量の接種で十分な免疫効果を得る研究を行っている。その他、昨年9月には難治性乳がんの臨床試験を開始、アルツハイマー病研究では従来の100倍の効率で投薬が可能となる成果を出し今後臨床試験へ移行する予定と答弁しました。



▶山田議員は、iCONMや政府専門家会議で活躍される岡部川崎市健康安全研究所長等専門家の情報を広く市民に発信する事が本市シビックプライド(市民の誇り)に繋がるとし対応を求めました。市長は、正確な情報を広く周知するとともに子ども達にも最先端の科学に触れる機会を提供し、シビックプライドを醸成する。そして、わが国を支える人材がこの川崎から多く輩出されるよう取組みたいと答弁しました。

「体内病院」の実現を目指す

スマートナノマシン

COINSでは、すべての医療機能が人体内に集約化される「体内病院」の実現を目指している。ウイルスサイズのスマートナノマシンが、体内の微小環境を自律巡回し、24時間治療・診断を行う。

山田議員は、昨年12月17日に開催された第6回定例会一般質問で「キングスカイフロント」「防災減災対策」「道路整備プログラム」「脱炭素社会」の4項目について市当局に質問しました。

市水防センターの提案 第2弾

ハードとソフト両面で整備!

▶山田議員が、一昨年の台風19号を教訓に昨年の予算議会で多摩防災センターを本市水防センターとして活用することの提案について、市は、国県と連携し7月水害訓練を実施、Wi-Fi環境や、新総合防災情報システムを整備しました。
 ▶山田議員は、さらに有事を想定し関係局区等に加え民間事業者との連携とタイムラインの運用を提案。市は、早急に対応すると答弁しました。

浸水被害の支援体制を構築

▶山田議員は、台風19号で民間住宅等の床下に溜まった排水作業が課題となったと指摘、先の議会で支援のあり方について提案してきました。市は、今回の質問で可動式排水ポンプを防災資機材補助メニューに追加、本年1月からは防災協力事業者向けの研修会を7区で実施するなど提案に沿った答弁となりました。

生活道路を速やかに改善

市道宮前6号線(南野川~久末)の整備

▶山田議員の質問に、市は今後、和田八幡宮下バス停付近から久末交差点までの区間を南野川橋の整備にあわせ先行供用する。また、改善を求めてきた中原街道の野川交差点の歩道の安全対策と久末交差点の右折信号設置については、令和3年度に、野川交差点の歩道の幅員を2.5メートルに拡幅、歩行者用滞留スペースを設ける。久末交差点の右折信号は市道宮前6号線の拡幅整備に合わせ検討すると答弁しました。



脱炭素社会を目指して 再エネ利用を加速

▶山田議員は、昨年の環境分科会で太陽光発電の卒FIT対策として蓄電池活用を提案した事について質問。市は蓄電池の単体導入へ支援拡充を図り、利用実績を2倍超拡大したと答弁しました。
 ▶高効率ごみ発電の導入では、令和5年度橋処理センターが竣工した場合の本市3処理センターの余剰電力と利用目的について質問。市は3施設で約1億2千万Kwアワーの売電能力と市区庁舎など主要公共施設で電力を利用する考えを示しました。



【令和5年度竣工 橋処理センター完成予想図】

山田議員は9月18日と25日に開催された決算審査特別委員会文教分科会で「市民相談事業」及び「保育所選考」「わくわくプラザ」「学校トイレ環境整備事業」など7項目について市当局に質問しました。

コロナ禍 法律相談を完全予約制と電話相談に サンキューコールで予約受付を実現!

▶山田議員が長年取り組んできた法律相談の予約制と、サンキューコールからの受付について、市は、コロナ禍の対応として対面相談を電話相談に切り替え、これまでの区役所での先着受付等(一部予約制)を完全予約制に統一、また、サンキューコールからの予約受付を開始しました。尚、宮前区の予約受付は、地域振興課 044(856)3132 のみとなります。
お問い合わせ先：サンキューコールかわさき 044(200)3939
運用時間：午前8時～午後9時(年中無休)

学校快適トイレを推進

▶山田議員の質問に、市の快適化工事に着手した学校は165校で約94%。多目的トイレの設置は、避難所機能を踏まえて校舎と体育館にそれぞれ1か所以上、車いす使用ができるトイレを整備すると答弁しました。



流域治水 首都圏外郭放水路を視察!

▶一昨年の台風19号による本市の浸水被害を繰り返さない為に、今後の浸水・洪水対策として、市議団では、昨年11月11日春日部市にある国土交通省江戸川河川事務所の首都圏外郭放水路(世界最大級の治水施設)を視察しました。

